

滋賀県精神保健 福祉協会だより

第53号
SHIGA
精神保健福祉協会

2014.12.31

編集発行：滋賀県精神保健福祉協会

〒525- 草津市笠山八丁目4番25号
0072 滋賀県立精神医療センター気付

TEL/FAX 077(567) 5250

http://www.mental-shiga.com

E-mail smental@ex.biwa.ne.jp



こころの健康フェスタ2014に参加して

二〇一四年十月五日、台風十八号が接近し、天候が悪い中ではありましたが、「こころの健康フェスタ2014」がイオンモール草津にて盛大に開催されました。

セントラルコートに、滋賀県精神障害者家族会連合会「楽々展」や精神医療センターダイケアの絵画や写真、書道などの様々な作品が展示され、滋賀県知事賞をはじめ様々な賞が贈られていました。これが当事者や家族の方々の作品創作のモチベーションとなり、今後よりよい作品が生まれれば良いと思いました。

他にも、医師による相談コーナーやこころの健康チェック、こどもナーステック、アルコールパッチテストのコーナーが設けられ、お客様で賑わっていました。こどもナーステックコーナーは特に女兒に人気が高く、ナーステックで笑顔を振りまくこども達がたくさんおり、将来看護師を目指す契機になってくれればと感じました。アルコールパッチテストコーナーで私もテストを受けてみました。自分はアルコールに弱いと自覚し、普段からほとんど飲酒はしませんが、結果は「アルコールに弱い」という

ものでしたので、引き続き気をつけたいと思いました。また、会場に滋賀県の健康推進のマスケットキャラクターのハグちゃんとクミちゃんが登場し、集客に一役買っていました。

そして、午後一時半、セントラルコートにてフェスタが始まりました。滋賀県知事の代理として健康医療福祉部の多胡豊章部長から、滋賀里病院の栗本藤基医師、琵琶湖病院の松田桜子医師に精神保健福祉事業功労者知事表彰が授与され、続いて滋賀県精神保健福祉協会山田尚登会長から、水口病院の福井伸彦氏、セフィロト病院の永川ひろ子氏、滋賀八幡病院の二国和良氏、水口病院の福田典郎氏、セフィロト病院の柴田郁子氏に滋賀県精神保健福祉協会表彰が授与されました。

次に、同コートにて、今回の目玉のキャラクターショーが開催されました。アミンチュや野洲のおっさん、甲賀戦隊忍シヤガーなど、地元で人気のキャラクターが続々と登場し、会場は子どもを中心に大いに盛り上がり、最後の記念撮影には長蛇の列が出来て、終了時間を超過するなど、盛大のうちに

終わることが出来ました。今年の「こころの健康フェスタ」は、地元で愛されるキャラクターを中心に、皆の気持ちが一つになり、新たな啓発の拡がりを感じられた一日だったと思います。

大津市保健所 淀 貴司



開会式



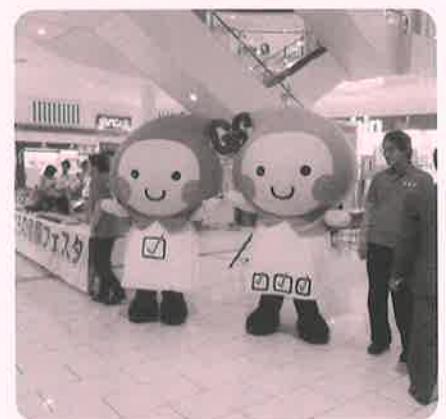
表彰式



体験コーナー



アミンチュショー



しがのハグ&クミ



楽々展



楽々展

「第7回アディクション・フォーラムin滋賀」報告

平成26年7月20日、大津市北部地域文化センターにおいて、「第7回アディクション・フォーラムin滋賀」が開催されました。初の湖西地域かつ会場までのアクセスが不便な場所での開催でしたが、一般の方50名、自助グループ関係者81名、医療福祉教育関係者16名の合計147名の参加がありました。

アディクションフォーラムは、一般住民や関係機関の支援者等に、アディクション（依存症）という病気の現状や課題、回復に至

る経緯を知ってもらうことを目的に、県内の自助グループメンバーや関係機関の有志などで構成するアディクションフォーラム実行委員会が平成20年から毎年開催し、今回で7回目を迎えました。

今年は「仲間を見つけた、希望を見つけた～私らしい アナタらしい なんだからそれってEらしい～」というテーマで、仲間や自助グループの大切さを伝える当事者や家族の体験発表が行われ、講演では自身も薬物依存やリストカットの経験があり、現在は薬物依存からの回復支援全般に携わる「Freedom」の代表でもある倉田めば氏にお越しいただき「薬物に依存していたころの私をもう少し受け入れられたら今の私のことをもっと好きになれる気がする」をテーマに体験談をお話しいただきました。また、後半には守山市在住のパフォーマンスアーティスト犬飼美也妃さんと共にパフォーマンスもご披露いただきました。

フォーラムは1日かけてプログラムが行われ、アルコール依存症の自助グループの方や、ギャンブル依存症の方、発達障害の方、薬物依存症の自助グループの方等、体験発表が行われました。

午後からは今年度初めての試みであるステージ表現展を実施し、詩の朗読あり、歌や、ゴスペル等盛りだくさんな内容でした。講演をはさんで、アルコール依存症の家族の方や、アダルトチルドレンの方、アルコールや薬物依存、摂食障害など複数の問題をあわせもつ方等からの体験発表が行われ、体験談を聞くことで様々な体験を共有しました。

アディクションの問題を抱える人に共通することは、その人の生き辛さ（例えば、孤独感や自信のなさ等）が嗜癖という形であられるのではないかと感じます。生き辛さを語る場や、一緒に回復する仲間を得ることによって、その生き辛さを抱えながらも回復につながっていくのだと思います。

今後もアディクション問題を抱える多くの方や、まだアディクションという言葉を知らずに生き辛さを抱えている方もその周囲の方にも、フォーラムを機会にアディクション問題を広く知っていただきたいです。第10回の開催を目指し、ただいま第8回の開催に向けて始動しています。

アディクションフォーラム実行委員

県立精神保健福祉センター 後藤 有加



講師 倉田めば氏

平成26年度 滋賀県精神保健福祉協会調査研究部会 「就労と結婚を語ろう!!」 に参加して

今年度で七回目を迎えます。

地域生活支援センターまなの川畑外志美所長のあいさつに始まり、座長の湖南クリニックの植林理一郎医師から趣旨説明のあと、今回のテーマである「就労」と「結婚」について、それぞれお一人ずつ体験の発表がありました。

「就労」について

一人目は女性からの「就労」をテーマとした発表でした。働き暮らし応援センターに相談し一緒にハローワークに行ったことや、今の仕事場へは「クローズ」ではなく「オープン」で、病気のことを事前に職場へ伝え、働き始められたとのことでした。

職場の周りの方とは楽しく「コミュニケーション」をとりながら仕事を続けており、仕事で失敗をした時には落ち着いて理由を聞くように注意されているとのことでした。

家族の理解や地域生活支援センターまなの支援もあって、今の仕事を続けることができている、今後の目標は一人暮らしをして自立すること、ゆっくりあせらずに目指していきたいの思いも参加者へ伝えられました。

「結婚」について

続いて、「結婚」をテーマに、結婚二十年以上を超えた男性からの発表があり

ました。

最初の二人の出会いから、共に心の病気で通院していることを言わずにお付き合いを始めたそうです。最初は奥様から病気のことを告げられましたが、ご自身はその場では言えずに隠してしまい、しばらくして病気のことを告げた時には奥様は黙っていたけれど許してくれたとの体験談が語られました。

また、二人の子どもを授かり、子どもが小さい頃はその世話が大変で自分の時間がなかなか持てなかったけれど、家族がいることでささやかだけれど幸せを感じるし、今でも一年に一回は子どもたちと家族四人で旅行するのが恒例行事になっているとのことでした。

奥様とはお互いに悩んでいそうだった話を聞き、お互いにかげ寄り添い合いながら、特別な家庭とは思わずに自然体で暮らしていきたいの思いが語られました。

グループに分かれて 意見交換

発表後はコーヒータ임을はさみ、五つのグループに分かれて、熱心に質問や意見交換などがされました。

グループによる意見交換の後には再び全員が集まって、グループで話し合われたことの発表と全体のまとめがされました。



体験発表

今日のお二人の発表から、自分のペースで肩に力を入れ過ぎず自然体でいることが結果として良い状態が続いていくこと、そして一人で頑張ることは難しいけれど、人との良い関係やつながりが支えとなるのが、参加者全体で確認・共有がされました。

「就労」と「結婚」は誰にとっても人生で大きなことだからこそ、思いや悩みが率直に語られ、交流をすることができると感じる場や機会が強く感じられた集まりでした。

滋賀県社会福祉協議会

和泉 啓吾

平成26年度「就労と結婚を語ろう!!」 アンケート集計

■回答数 24(参加者44人) 回答率 54.5%

■感想(抜粋)

- ・就労している人のお話が聞けて、自分のことを振り返るよい機会になった。
- ・多くの人が出て、ちょっとためらった。
- ・感動しました。みんな頑張っておられるのだなと思いました。楽しい結婚生活を過ごされているなと思いました。
- ・就労・結婚について、いろいろな人の意見が聞けて参考になりました。いろいろな働き方がある、こうしないといけないということではなくて、自分にとって合った働き方を探していくことが必要だと思いました。
- ・就労について非常に有意義な話を聞くことができました。本当にありがとうございます。
- ・結婚に対するハードルが高い。結婚にたどりつく段階が必要。
- ・作業所に通所しているが、それだけではなかなか情報や体験がわからない。このような場があることで、様々な話を聞けて非常に参考になった。今後の活動などに生かしていきたい。
- ・人それぞれの悩みを聞かせていただいてよかったです。
- ・当事者の方々からのお話や体験談はとても勉強にもなり、発表者のお二人もとても素晴らしい方だなと思いました。今日は本当に参加できてよかったです。
- ・やっぱり本人の声がいちばんですね。



榎林先生と川畑所長

(集計:協会事務局)

滋賀県精神保健福祉協会

入会のご案内

県民、民間団体、医療、行政などが一体となり、精神保健福祉に関する知識を広く県民に普及啓発し、障害のある人もない人も共に暮らしよい社会づくり、「こころの豊かな社会」の実現を目指し活動しております。1人でも多くの方々とともに活動をつづけて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

皆さまのご入会をこころよりお待ちしております。くわしい内容については、下記へお尋ねください。

会費(年額)

○一般会員 この会の趣旨に賛同して入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 10,000円

○賛助会員 この会の事業を賛助するため入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 20,000円



■事務局 〒525-0072

滋賀県草津市笠山8丁目4-25 滋賀県立精神医療センター内
TEL/FAX 077-567-5250

Lilly

いのちの暮らにこたえます。

「ミラクルをちようだい」

創業もないイーライ・リリー大佐の薬局を訪れた少女は、
そう言いながら小さな手に握りしめていた
わずかなお小遣いを差し出しました。
母親が重い病気で、医者も周囲の大人たちも
「ミラクル(奇跡)だけが頼りだ」と話していたというのです。

創業から135年余。
まだ満たされない医療ニーズにこたえるため、
絶え間なくイノベーションを追求し、
数々の「世界初」、「ミラクル」を生み出してきました。
医療や科学技術が進歩した今も、さらなる革新的新薬を求めて
真に価値ある医薬品づくりに日々邁進しています。
患者さん一人ひとりにとっての「ミラクル」を提供するために。

<http://www.lilly.co.jp/>

日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5

「認知症」のこと、「歳のせい」にしているませんか？

認知症は早期に治療することで症状を遅らせたり、改善したりすることができます。

近江温泉病院は、認知症に伴うさまざまな症状に対して、専門的な治療を行う

「認知症病棟」を有しております。

認知症の診断と治療を通じて、患者さんをご家族の地域での暮らしを支えます。

ご家族の変化に気づいたら、お早めにご相談下さい。

医療法人 恒仁会 近江温泉病院

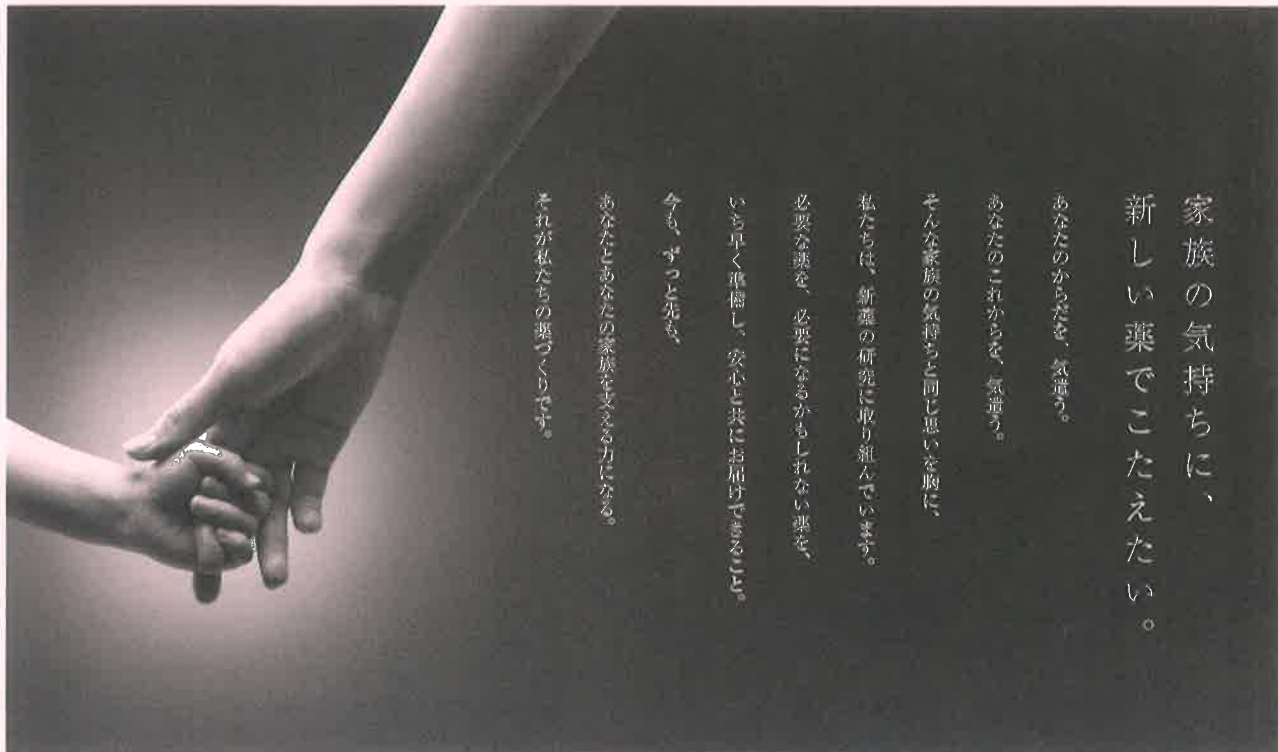
滋賀県東近江市北坂町966

TEL 0749-46-1125

FAX 0749-46-0265

ホームページ <http://www.oumi-hp.or.jp>





家族の気持ちに、
新しい薬でこたえたい。

あなたからだと、気遣う。

あなたのこれから、気遣う。

そんな家族の気持ちと同じ思いを胸に、

私たちは、新薬の研究に取り組んでいます。

必要な薬を、必要になるかもしれない薬を、

いち早く準備し、安心と共にお届けできること。

今も、ずっと先も、

あなたとあなたの家族を支える力になる。

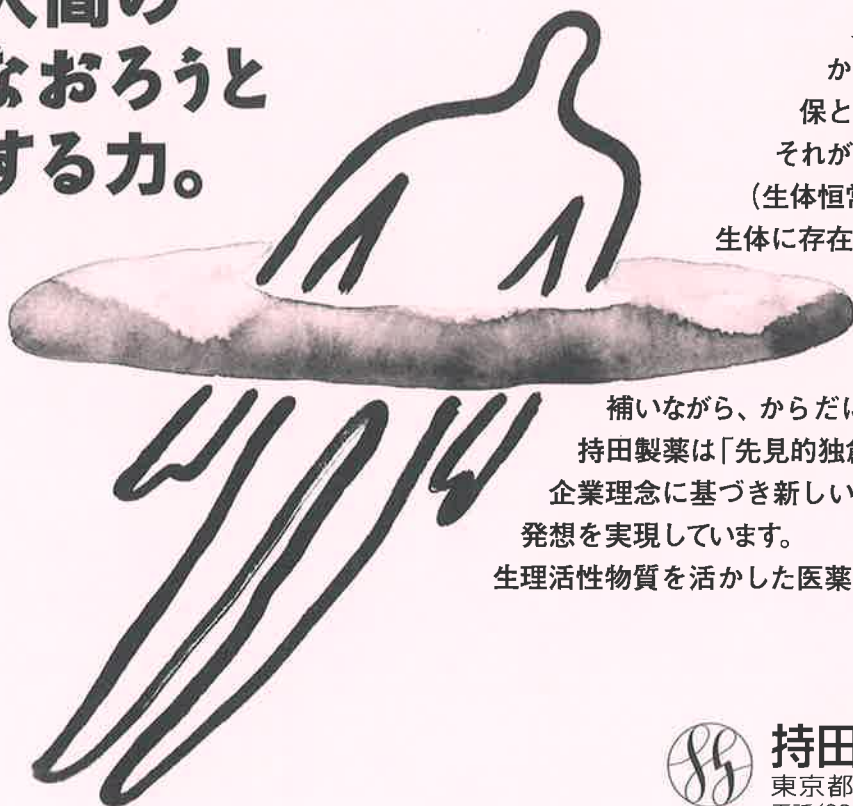
それが私たちの薬づくりです。



大日本住友製薬

www.ds-pharma.co.jp

人間の
なおろうと
する力。



人間にはもともと、
からだの状態を一定に
保とうとする能力があります。

それがホメオスタシス
(生体恒常性)。

生体に存在する生理活性物質から
精製してつくられる
医薬品は、人間の
ホメオスタシスの力を

補いながら、からだに無理なく働きかけます。

持田製薬は「先見的独創と研究」という

企業理念に基づき新しい医薬品の

発想を実現しています。

生理活性物質を活かした医薬品もそのひとつです。



持田製薬株式会社

東京都新宿区四谷1丁目7番地
電話(03)3358-7211(代) 〒160-8515

伝言板

笑ってメンヘル滋賀 初笑い落語家さんと遊ぼう Part 13

日時…平成27年1月31日(土) 15:00~17:00
 場所…地域生活支援センターまな(JR南彦根駅西口より徒歩7分)
 内容…落語:笑福亭生喬さん、笑福亭生寿さん
 その他 漫才、パフォーマンスなど
 参加費…500円
 連絡先…笑ってメンヘル滋賀事務局 TEL:0749-21-2192

若者サミット ~明日color(から)希望を持って~

日時…平成27年1月31日(土) 10:00~16:10
 場所…県立男女共同参画センター(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
 内容…講演:イラク人質事件、パッシング、ひきこもりを乗り越えて
 ~ほかが社会企業家になった理由~
 講師:今井紀明氏(NPO法人D×P代表)
 全体会:私たちができることを集めよう
 座長:山本耕平氏(立命館大学教授)
 パネリスト:今井紀明氏(NPO法人D×P代表)
 日野貴博氏(学習支援ボランティア団体Atlas代表)
 滋賀県ひきこもり支援センター ピアスタッフ
 主催…滋賀県立精神保健福祉センター
 参加費…無料
 申込み…若者サミット実行委員会事務局
 TEL:077-567-5058 FAX:077-562-4334



こころの会 例会

日時…平成27年2月8日(日) 13:00~15:00
 場所…県立男女共同参画センター研修室C(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
 内容…現在悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等
 申込み…「こころの会」蒲生郡日野町木津192(事務局代表 吉澤康雄)
 TEL/FAX 0748-52-2918 (この会は患者会です)

平成26年度 滋賀県精神障害者 地域支援事業所協議会(精作連)研修会

日時…平成27年2月21日(土) 13:30~16:00
 場所…草津市立まちづくりセンター 201会議室
 テーマ…仕事の話の話を聞いてみよう・聞いてみよう
 第1部「働きたい」を実現するために…
 働き暮らし応援センター “tekito-” 野々村光子氏
 第2部「仕事の話の話を聞いてみよう!聞いてみよう!」
 精神障害を持ちながら働く当事者さん、支援者さん、
 企業さん、それぞれの視点からの話
 主催…滋賀県精神障害者地域支援事業所協議会(精作連)
 後援…滋賀県
 問合せ…社会福祉法人こなんSSN
 風日和(カイトビヨリ)上田
 TEL/FAX 0748-20-2331



こころの会 例会

日時…平成27年4月12日(日) 13:00~15:00
 場所…県立男女共同参画センター研修室C(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
 内容…現在悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等
 申込み…「こころの会」蒲生郡日野町木津192(事務局代表 吉澤康雄)
 TEL/FAX 0748-52-2918 (この会は患者会です)

編集後記

◆2015年は団塊の世代が、全て65歳を超えます。超高齢化社会を迎えて、認知症問題は、大きな社会問題となっています。我が国でも2010年で、認知症の人が439万人、予備軍と言われる軽度認知障害の人が380万人と推計されています。高齢者の4人に一人が認知症関連の障害を持つこととなります。こうした中で、厚労省は1124年6月に「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」を発表しました。そこでは「認知症の人の意志を尊重し、できるだけ入院せずに、住み慣れた地域で長く支援していく」を目指し、認知症の早期発見・早期対応が強く求められています。そのような中で守山市の緑本クリニックが、全国に先駆けて「認知症疾患医療センター診療所型」の指定を受けています。これまでの「もの忘れカフェ」などの地域活動が評価されたものと思われまふ。

◆今日の政策的課題として、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重要な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築が求められています。このシステムは、これまで高齢者介護の領域で主に語られてきましたが、高齢障害者の増加が見込まれる中で、障害福祉の領域とリンクさせて考えていく必要があります。介護保険の年齢になって、それまでの障害福祉サービスが制限されるなどといった事例がみられます。地域における医療及び介護を総合的に確保するために、2015年4月に向けて地域医療ビジョンの策定が進められていますが、その中で、障害福祉の領域がどのように組み込まれていくのか、また、精神科医療がどのような役割を果たすのかなどといった点が、未だ明確になっていません。

◆12月の解散総選挙では、自民・公明両党が2/3以上の議席を確保し、与党の圧勝に終わりました。アベノミクスなる経済政策が争点とされた選挙戦でしたが、そのさ中の12/10に、国家機密の漏洩に対して厳罰を科すという「特定秘密保護法」が施行されました。この法律の成立によって、国民の知る権利が脅かされる恐れが懸念されています。さらに、秘密を扱う公務員には「適正評価」が求められます。精神科受診歴などいくつかの項目を自主申告させ、それを受けて、医療機関等に個人情報が行われることになりそうです。国家機密を守るという大義の前に、医師の守秘義務など吹き消されてしまう勢いです。精神科受診歴があれば、秘密を漏らすおそれがあるという偏見を生む可能性があります。また、特定秘密に関わる可能性のある公務員などの受診抑制が懸念されます。(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)

会員数

平成26年12月15日現在

一般会員	個人会員	114人
	団体会員	34団体
賛助会員	個人会員	6人
	団体会員	4団体
サポート会員		7団体